2026年９月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　株式会社フリークアウト・ホールディングス　上場取引所　東
コード番号　6094　ＵＲＬ　https://www.fout.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長 Global CEO　（氏名）本田　謙
問合せ先責任者　（役職名）取締役CFO　（氏名）永井　秀輔　ＴＥＬ　03(6721)1740

定時株主総会開催予定日　2026年12月24日　配当支払開始予定日　－
有価証券報告書提出予定日　2026年12月23日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	56,703	12.7	853	784.4	1,836	225.3	1,284	366.4
2025年９月期	50,323	△2.7	96	－	564	53.9	275	－

	EBITDA		調整後当期利益	
	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	3,145	61.1	1,195	85.0
2025年９月期	1,952	10.0	646	110.3

（注）包括利益　2026年９月期　1,511　百万円　（311.6%）　2025年９月期　367　百万円　（－%）

（注）１．EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用＋M&Aに関する株式取得・売却関連費用

（注）２．調整後当期利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却費及び買収に伴う無形資産償却費＋株式報酬費用±一過性の損益調整額

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	73.95	73.86	11.5	4.8	1.5
2025年９月期	15.85	15.81	2.4	1.4	0.2

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　985　百万円　2025年９月期　664　百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	35,811	13,722	33.1	682.96
2025年９月期	40,210	12,143	26.1	603.88

（参考）自己資本　2026年９月期　11,867　百万円　2025年９月期　10,493　百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,224	△2,545	△6,736	8,406
2025年９月期	△36	△986	△2,992	16,367

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2026年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2027年９月期（予想）	－	0.00	－	0.00	0.00		－	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	5.8	900	5.4	1,400	△23.8	1,100	△14.4	63.30

	EBITDA		調整後当期利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,200	1.7	1,900	58.9

※　注記事項

（１）　期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）　発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	18,022,924　株	2025年９月期	18,022,924　株
②　期末自己株式数	2026年９月期	646,412　株	2025年９月期	646,412　株
③　期中平均株式数	2026年９月期	17,376,512　株	2025年９月期	17,376,512　株

（参考）個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	1,821	104.8	331	－	△400	－	△1,454	－
2025年９月期	889	△21.1	△243	－	△514	－	△657	－

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	△83.69	－
2025年９月期	△37.86	－

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	18,794	7,224	36.0	389.15
2025年９月期	22,228	8,605	36.7	469.01

（参考）自己資本　　2026年９月期　　6,762　百万円　　2025年９月期　　8,149　百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.５「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 4
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）今後の見通し …… 5
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 5
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）連結貸借対照表 …… 6
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 10
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 14
（継続企業の前提に関する注記） …… 14
（連結損益計算書に関する注記） …… 14
（セグメント情報等の注記） …… 15
（１株当たり情報の注記） …… 20
（重要な後発事象の注記） …… 21

１． 経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当社グループは、ミッションである「人に人らしい仕事を。」の実現を目指し、日本、北米、東アジア及び東南アジアを中心に、グローバルに事業を展開しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の高止まりに加え、中東情勢の不安定さに起因する原油高や金融資本市場の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当連結会計年度における当社の経営成績は、以下のような内容となりました。

まず、プロダクト事業（日本）においては、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」が商流変更の影響を受け減益となった一方で、高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテクスチュアルターゲティング「GP」が引き続き堅調に推移しました。また、不動産領域においてはBPaaS（Business Process as a Service）事業を展開する株式会社スミカが順調に推移し、さらにリテールメディア領域においては株式会社ストアギークが独自開発した「ストアギークサイネージ」によるサービスの拡大を進め、利益貢献いたしました。

次に、プロダクト事業（海外）では、米国法人Playwire, LLCにおいて、Direct Salesが回復傾向にあることなどが寄与し、前年同期比で売上高、営業利益及びEBITDAがいずれも増益となりました。

投資事業では、資本効率の改善及びポートフォリオの最適化を目的として、保有株式の一部売却を実施いたしました。これにより売上高を計上するとともに、利益面においても大きく貢献いたしました。

クリエイター＆アスリート事業では、UUUM株式会社において2025年10月にマーケティング部門を新設分割し「UUUMマーケティング株式会社」を設立いたしました。こうした構造改革が着実に進捗したことで、マーケティング領域において前期を上回る成果が得られたことに加え、クリエイターマネジメントを主軸とする既存事業においても、トップクリエイターのイベント開催をはじめとする各施策が寄与し、事業が再成長いたしました。これらの結果、前年同期比で売上高、営業利益及びEBITDAがいずれも増益となりました。

また、持分法適用会社では、タクシー内のデジタルサイネージを提供する株式会社IRISにおいて、持分法による投資利益が過去最高を更新し、利益に大きく貢献いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高56,703百万円（前年同期比12.7％増）、営業利益853百万円（前年同期比784.4％増）、経常利益1,836百万円（前年同期比225.3％増）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用＋M&Aに関する株式取得・売却関連費用）3,145百万円（前年同期比61.1％増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,284百万円（前年同期比366.4％増）、調整後当期利益（親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却費及び買収に伴う無形資産償却費＋株式報酬費用±一過性の損益調整額）1,195百万円（前年同期比85.0％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

前連結会計年度におけるUUUM株式会社の完全子会社化及び当連結会計年度の同社マーケティング部門の分社化に伴い、経営資源の配分、管理体制等の実態を適切に反映させるため、当連結会計年度より、報告セグメントの区分について、従来の「広告事業」を「プロダクト事業」へ、従来の「インフルエンサーマーケティング事業」を「クリエイター＆アスリート事業」へそれぞれ再定義の上で名称変更しております。

これに合わせて、従来「その他事業」に区分していた一部を「プロダクト事業」に、従来「広告事業」に区分していた一部を「クリエイター＆アスリート事業」に統合しております。また、UUUM株式会社の本社機能について親会社である当社側への機能集約を進めたことから、当該費用を従来の「インフルエンサーマーケティング事業」から「その他事業」へ集計を変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の名称を用いて表示しております。また、各セグメントの数値については、管理区分の変更の実態に基づき、組替え後の数値を記載しております。

（プロダクト事業）

プロダクト事業（日本）では、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」が商流変更の影響を受け減益となった一方で、高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテクスチュアルターゲティング「GP」が引き続き堅調に推移しました。また、不動産領域においてはBPaaS（Business Process as a Service）事業を展開する株式会社スミカが順調に推移し、さらにリテールメディア領域においては株式会社ストアギークが独自開発した「ストアギークサイネージ」によるサービスの拡大を進め、利益貢献いたしました。

プロダクト事業（海外）では、米国法人Playwire, LLCにおいて、Direct Salesが回復傾向にあることなどが寄与し、前年同期比で売上高、営業利益及びEBITDAがいずれも増益となりました。

この結果、プロダクト事業の外部顧客への売上高は33,064百万円（前年同期比13.8％増）、セグメント利益は663百万円（前年同期比2.5％増）、EBITDAは2,176百万円（前年同期比16.5％増）となりました。

（投資事業）

投資事業では、グローバル展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

当連結会計年度においては、投資先に対する管理報酬の売上計上及び一部投資銘柄を売却し売上を計上しており、利益面においても大きく貢献いたしました。

この結果、投資事業の外部顧客への売上高は648百万円（前年同期は58百万円）、セグメント利益は461百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）、EBITDAは462百万円（前年同期は△21百万円）となりました。

（クリエイター＆アスリート事業）

クリエイター＆アスリート事業では、クリエイター及びアスリートの様々な活動のサポート、両者を活用したプロモーション、ならびに番組制作・チャンネル運営等を行っております。また、UUUM株式会社において2025年10月にマーケティング部門を新設分割し「UUUMマーケティング株式会社」を設立いたしました。こうした構造改革が着実に進捗したことで、マーケティング領域において前期を上回る成果が得られたことに加え、クリエイターマネジメントを主軸とする既存事業においても、トップクリエイターのイベント開催をはじめとする各施策が寄与し、事業が再成長いたしました。これらの結果、当連結会計年度においては、前年同期比で売上高、営業利益及びEBITDAがいずれも増益となりました。

この結果、クリエイター＆アスリート事業の外部顧客への売上高は22,925百万円（前年同期比8.2％増）、セグメント利益は1,839百万円（前年同期はセグメント利益144百万円）、EBITDAは2,403百万円（前年同期比242.1％増）となりました。

（その他事業）

その他事業では、主に国内外のグループにおける経営管理機能の提供及び新規事業の推進等を実施しております。

当連結会計年度においては、グループに対する管理体制の強化に加え成長領域に向けた取り組みを推進いたしました。また、報告セグメントの区分を見直すとともに、子会社であるUUUM株式会社における本社機能を当社へ集約し、管理費用を当事業へ移管したことが、利益面を下押しする要因となりました。

この結果、その他事業の外部顧客への売上高は64百万円（前年同期比89.4％増）、セグメント損失は1,448百万円（前年同期はセグメント損失518百万円）、EBITDAは△1,233百万円（前年同期は△427百万円）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は35,811百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,398百万円減少しました。これは主に、建物等の有形固定資産が905百万円、のれんが1,415百万円、投資有価証券が714百万円増加した一方で、現金及び預金が7,960百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債は22,089百万円となり、前連結会計年度末と比べ5,977百万円減少しました。これは主に、短期借入金が3,953百万円、長期借入金が2,127百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は13,722百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,579百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,284百万円増加したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より7,960百万円減少し、8,406百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動においては、1,224百万円の資金流入（前連結会計年度は36百万円の資金流出）となりました。これは主に、償却前営業利益を計上した一方で、法人税等の支払による支出319百万円による資金流出があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動においては、2,545百万円の資金流出（前連結会計年度は986百万円の資金流出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入438百万円による資金流入があったものの、有形固定資産の取得による支出971百万円や無形固定資産の取得による支出452百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,644百万円による流出があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動においては、6,736百万円の資金流出（前連結会計年度は2,992百万円の資金流出）となりました。これは主に、短期借入金の借入及び返済による支出4,022百万円や長期借入金の返済による支出2,310百万円による資金流出があったためであります。

（４）今後の見通し

当社グループは、「人に人らしい仕事を。」をミッションとして掲げ、更なる企業価値の向上に邁進してまいります。

具体的には、引き続き成長が見込まれる国内インターネット広告市場において、コンテクスチュアルターゲティングによるYouTube広告枠買付を提供する「GP」、株式会社ストアギークによるRetailTech領域でのインストアサイネージ事業、AIエージェント「HAWK」や株式会社スミカによる不動産領域でのAI活用を積極的に進めることで、成長を加速させてまいります。

また、海外インターネット広告市場においては、回復基調にある直販領域への注力とコストの適正化により、Playwire, LLCの再成長を加速させるほか、東アジア・東南アジアの各拠点についても、コスト改善や「GP」のグローバル展開などを通じて、収益力の強化に努めてまいります。

さらに、UUUM株式会社を中心に成長著しいインフルエンサーマーケティング市場で事業をさらに展開し、マーケティング領域を分社化した効果をさらに推し進めることで、再成長に向けた体制整備を実行してまいります。また、オフィス統合による経営合理化を引き続き進めるとともに、グループ全体としてのシナジー発現を含めて同市場での収益力強化を実現してまいります。

一方で、先行き不透明な国際情勢と不安定な為替相場の影響は、2026年10月以降も継続が見込まれております。これらが当社グループの顧客の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があり、それに伴う広告出稿の減少により当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

以上の結果、2027年９月期の業績につきましては、売上高60,000百万円（当連結会計年度比5.8％増）、営業利益900百万円（当連結会計年度比5.4％増）、経常利益1,400百万円（当連結会計年度比23.8％減）、EBITDA3,200百万円（当連結会計年度比1.7％増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,100百万円（当連結会計年度比14.4％減）、調整後当期利益1,900百万円（当連結会計年度比58.9％増）をそれぞれ見込んでおります。

※なお、詳細につきましては本日開示を予定しております「株式会社フリークアウト・ホールディングス2026年９月期通期決算説明資料」をご参照ください。

２． 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）の適用を検討する方針であります。

３． 連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,367,521	8,406,622
受取手形	10,670	3,933
売掛金	9,884,453	10,536,933
営業投資有価証券	1,259,003	1,442,491
その他	1,995,130	2,203,669
貸倒引当金	△119,136	△99,775
流動資産合計	29,397,643	22,493,875
固定資産		
有形固定資産		
建物	876,363	1,075,813
減価償却累計額	△672,713	△61,381
建物（純額）	203,650	1,014,431
工具、器具及び備品	1,035,958	1,068,727
減価償却累計額	△798,416	△788,450
工具、器具及び備品（純額）	237,541	280,277
その他	382,679	609,151
減価償却累計額	△142,033	△316,189
その他（純額）	240,646	292,961
有形固定資産合計	681,838	1,587,671
無形固定資産		
のれん	1,367,972	2,783,270
顧客関連資産	2,815,363	2,801,545
その他	602,808	655,055
無形固定資産合計	4,786,144	6,239,871
投資その他の資産		
投資有価証券	4,004,720	4,719,673
その他	1,455,058	886,036
貸倒引当金	△115,197	△115,331
投資その他の資産合計	5,344,581	5,490,378
固定資産合計	10,812,564	13,317,920
資産合計	40,210,208	35,811,796

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,806,416	7,133,920
短期借入金	6,407,843	2,454,717
１年内返済予定の長期借入金	2,308,446	2,140,966
１年内償還予定の社債	360,000	280,000
未払法人税等	208,317	197,250
契約負債	187,761	128,301
賞与引当金	314,836	285,028
役員賞与引当金	75,278	61,067
関係会社整理損失引当金	72,312	73,247
本社移転費用引当金	50,289	―
その他	1,966,115	1,875,015
流動負債合計	18,757,618	14,629,516
固定負債		
社債	280,000	―
長期借入金	8,074,834	5,946,930
繰延税金負債	875,242	975,223
その他	79,394	537,462
固定負債合計	9,309,471	7,459,615
負債合計	28,067,090	22,089,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,552,049	3,552,049
資本剰余金	1,339,835	1,339,835
利益剰余金	6,012,767	7,297,699
自己株式	△723,597	△723,597
株主資本合計	10,181,054	11,465,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,628	257,447
為替換算調整勘定	187,680	144,083
その他の包括利益累計額合計	312,309	401,531
新株予約権	455,962	462,435
非支配株主持分	1,193,791	1,392,710
純資産合計	12,143,118	13,722,663
負債純資産合計	40,210,208	35,811,796

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	50,323,355	56,703,533
売上原価	36,259,950	40,457,780
売上総利益	14,063,405	16,245,753
販売費及び一般管理費	※１ 13,966,889	※１ 15,392,159
営業利益	96,515	853,593
営業外収益		
受取利息	61,531	47,240
持分法による投資利益	664,073	985,754
為替差益	80,586	226,828
貸倒引当金戻入額	23,133	2,547
その他	59,928	84,792
営業外収益合計	889,252	1,347,164
営業外費用		
支払利息	183,639	223,317
資金調達費用	1,054	82,141
公開買付関連費用	197,612	843
その他	38,907	57,770
営業外費用合計	421,213	364,074
経常利益	564,554	1,836,684
特別利益		
投資有価証券売却益	―	180,292
段階取得に係る差益	―	60,810
新株予約権戻入益	62,536	7,550
その他	5	―
特別利益合計	62,542	248,653
特別損失		
投資有価証券評価損	34,474	304,460
減損損失	※２ 11,968	※２ 118,867
関係会社整理損失引当金繰入額	10,674	―
本社移転費用引当金繰入額	50,289	―
その他	2,841	70,643
特別損失合計	110,248	493,971
税金等調整前当期純利益	516,848	1,591,365
法人税、住民税及び事業税	326,992	293,945
法人税等調整額	△98,356	△108,806
法人税等合計	228,636	185,139
当期純利益	288,212	1,406,226
非支配株主に帰属する当期純利益	12,739	121,294
親会社株主に帰属する当期純利益	275,472	1,284,931

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益	288,212	1,406,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,364	128,208
為替換算調整勘定	51,701	△18,607
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,024	△4,055
その他の包括利益合計	79,040	105,545
包括利益	367,253	1,511,772
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	331,460	1,374,153
非支配株主に係る包括利益	35,792	137,618

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,552,049	3,756,280	5,821,647	△723,594	12,406,383
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			275,472		275,472
自己株式の取得				△2	△2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△2,416,445			△2,416,445
連結範囲の変動			△86,573		△86,573
その他			2,220		2,220
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	―	△2,416,445	191,119	△2	△2,225,328
当期末残高	3,552,049	1,339,835	6,012,767	△723,597	10,181,054

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	79,805	176,516	256,322	528,993	3,760,198	16,951,896
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						275,472
自己株式の取得						△2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△2,416,445
連結範囲の変動						△86,573
その他						2,220
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	44,822	11,164	55,987	△73,031	△2,566,406	△2,583,450
当期変動額合計	44,822	11,164	55,987	△73,031	△2,566,406	△4,808,778
当期末残高	124,628	187,680	312,309	455,962	1,193,791	12,143,118

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,552,049	1,339,835	6,012,767	△723,597	10,181,054
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			1,284,931		1,284,931
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	―	―	1,284,931	―	1,284,931
当期末残高	3,552,049	1,339,835	7,297,699	△723,597	11,465,986

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	124,628	187,680	312,309	455,962	1,193,791	12,143,118
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						1,284,931
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	132,819	△43,597	89,221	6,473	198,918	294,613
当期変動額合計	132,819	△43,597	89,221	6,473	198,918	1,579,545
当期末残高	257,447	144,083	401,531	462,435	1,392,710	13,722,663

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	516,848	1,591,365
減価償却費	1,054,376	1,103,858
減損損失	11,968	118,867
のれん償却額	128,960	178,187
株式報酬費用	8,561	13,911
賞与引当金の増減額（△は減少）	120,716	△48,751
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	63,046	△18,380
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△62,972	△22,827
関係会社整理損失引当金の増減額（△は減少）	3,366	12
本社移転費用引当金の増減額（△は減少）	50,289	△50,289
受取利息及び受取配当金	△62,168	△47,901
支払利息	183,639	223,317
為替差損益（△は益）	△141,407	△201,618
持分法による投資損益（△は益）	△664,073	△985,754
持分変動損益（△は益）	2,443	4,572
新株予約権戻入益	△62,536	△7,550
段階取得に係る差損益（△は益）	―	△60,810
資金調達費用	1,054	82,141
公開買付関連費用	197,612	843
投資有価証券売却損益（△は益）	―	△180,292
投資有価証券評価損益（△は益）	34,474	304,460
売上債権の増減額（△は増加）	△443,644	△319,163
仕入債務の増減額（△は減少）	132,690	116,217
その他の資産の増減額（△は増加）	△544,345	△257,388
その他の負債の増減額（△は減少）	△443,840	△42,381
その他	△3,653	△8,613
小計	81,407	1,486,033
利息及び配当金の受取額	212,217	280,790
利息の支払額	△155,794	△223,251
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△174,416	△319,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,586	1,224,436

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△216,043	△971,739
無形固定資産の取得による支出	△383,384	△452,683
投資有価証券の取得による支出	△101,581	△69,536
投資有価証券の売却による収入	―	180,292
貸付けによる支出	△10,323	△40,000
貸付金の回収による収入	26,029	23,671
敷金及び保証金の差入による支出	△448,209	△22,076
敷金及び保証金の回収による収入	25,018	438,716
定期預金の払戻による収入	250,000	―
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△135,354	△1,644,951
投資事業組合からの分配による収入	11,231	12,878
その他	△3,411	313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△986,029	△2,545,115
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△190,719	△4,022,361
長期借入れによる収入	5,000,000	―
長期借入金の返済による支出	△2,202,689	△2,310,796
社債の償還による支出	△360,223	△360,141
自己株式の取得による支出	△2	―
セール・アンド・リースバックによる収入	261,000	174,000
リース債務の返済による支出	△151,083	△175,042
非支配株主への配当金の支払額	△2,803	△32,762
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,352,292	△9,843
その他	6,018	112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,992,796	△6,736,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	135,992	96,613
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,879,419	△7,960,899
現金及び現金同等物の期首残高	19,821,084	16,367,521
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	425,856	―
現金及び現金同等物の期末残高	16,367,521	8,406,622

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結損益計算書に関する注記）

※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
給与及び手当	5,881,963　千円	6,653,872　千円
賞与引当金繰入額	298,774	272,113
役員賞与引当金繰入額	75,523	61,349
のれん償却額	128,960	178,187
株式報酬費用	8,561	13,911
システム利用料	1,171,554	1,483,422

※２　減損損失

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

前連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

（単位：千円）

用途	種類	場所	金額
共用資産	建物 工具、器具及び備品	日本	10,482
事業用資産	工具、器具及び備品	アジア	827
事業用資産	無形固定資産（その他）	日本	657

当社グループは、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎としたグルーピングをしております。

共用資産は、帳簿価額を管理会計上の区分を基礎として合理的な基準で配分し、減損の兆候が認められた資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

事業用資産は、営業活動による損益が２期連続でマイナスとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、将来キャッシュ・フローが見込めない資産については、回収可能価額を零として評価しており、割引率を使用しておりません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

（単位：千円）

用途	種類	場所	金額
共用資産	建物 工具、器具及び備品	日本	115,901
事業用資産	工具、器具及び備品	アジア	2,965

当社グループは、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎としたグルーピングをしております。

共用資産は、帳簿価額を管理会計上の区分を基礎として合理的な基準で配分し、減損の兆候が認められた資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

事業用資産は、営業活動による損益が２期連続でマイナスとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、将来キャッシュ・フローが見込めない資産については、回収可能価額を零として評価しており、割引率を使用しておりません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

（１）報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

（２）各報告セグメントに属する製品及びサービス

「プロダクト事業」では、モバイルマーケティングプラットフォーム「Red」、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」、高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテクスチュアルターゲティングを可能とする次世代型YouTube広告枠買付システム「GP」、ネイティブアドプラットフォームなどの提供を行っております。

「投資事業」では、グローバル展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

「クリエイター＆アスリート事業」では、クリエイター及びアスリートの様々な活動のサポート、両者を活用したプロモーション、ならびに番組制作・チャンネル運営等を行っております。

「その他事業」では、国内外のグループにおける経営管理機能等の提供を行っております。

（３）報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度におけるUUUM株式会社の完全子会社化及び当連結会計年度期首の同社マーケティング部門の分社化に伴い、経営資源の配分、管理体制等の実態を適切に反映させるため、当連結会計年度より、報告セグメントの区分について、従来の「広告事業」を「プロダクト事業」へ、従来の「インフルエンサーマーケティング事業」を「クリエイター＆アスリート事業」へそれぞれ再定義の上で名称変更しております。

これに合わせて、従来「その他事業」に区分していた一部を「プロダクト事業」に、従来「広告事業」に区分していた一部を「クリエイター＆アスリート事業」に統合しております。また、UUUM株式会社の本社機能について親会社である当社側への機能集約を進めたことから、当該費用を従来の「インフルエンサーマーケティング事業」から「その他事業」へ集計を変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の名称を用いて表示しております。また、各セグメントの数値については、管理区分の変更の実態に基づき、組替え後の数値を記載しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法です。

報告セグメントの利益又は損失（△）は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注１）	連結財務諸表計上額（注２）
	プロダクト事業	投資事業	クリエイター＆アスリート事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,051,623	58,717	21,179,015	33,998	50,323,355	－	50,323,355
セグメント間の内部売上高又は振替高	144,948	－	115,955	795,958	1,056,862	△1,056,862	－
計	29,196,572	58,717	21,294,970	829,957	51,380,217	△1,056,862	50,323,355
セグメント利益又は損失（△）	647,081	△6,980	144,724	△518,489	266,336	△169,821	96,515
セグメント資産	16,162,873	1,104,830	13,211,427	12,531,963	43,011,095	△2,800,887	40,210,208
その他の項目							
減価償却費	574,269	－	455,071	25,036	1,054,377	－	1,054,377
減損損失	657	－	300	11,010	11,968	－	11,968
のれん償却額	16,863	－	112,096	－	128,960	－	128,960
持分法適用会社への投資額	1,923,244	191,775	50,512	644,789	2,810,320	－	2,810,320
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	841,242	－	79,136	39,238	959,617	－	959,617

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

（１）セグメント利益又は損失（△）の調整額はセグメント間取引の消去であります。

（２）セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注１）	連結財務諸表計上額（注２）
	プロダクト事業	投資事業	クリエイター&アスリート事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	33,064,799	648,488	22,925,852	64,392	56,703,533	－	56,703,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	132,093	－	392,849	1,207,410	1,732,353	△1,732,353	－
計	33,196,892	648,488	23,318,701	1,271,803	58,435,886	△1,732,353	56,703,533
セグメント利益又は損失（△）	663,346	461,865	1,839,356	△1,448,436	1,516,132	△662,538	853,593
セグメント資産	16,992,338	1,373,766	13,112,379	9,659,599	41,138,083	△5,326,287	35,811,796
その他の項目							
減価償却費	636,879	－	351,986	114,993	1,103,858	－	1,103,858
減損損失	2,123	－	695	116,048	118,867	－	118,867
のれん償却額	16,863	－	161,324	－	178,187	－	178,187
持分法適用会社への投資額	2,554,556	195,723	91,765	724,638	3,566,684	－	3,566,684
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	655,539	－	23,739	744,275	1,423,553	－	1,423,553

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

（１）セグメント利益又は損失（△）の調整額はセグメント間取引の消去であります。

（２）セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

１　製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２　地域ごとの情報

（１）売上高

（単位：千円）

日本	米国	アジアその他	合計
21,562,968	23,625,278	5,135,108	50,323,355

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（２）有形固定資産

（単位：千円）

日本	北米	アジア	合計
596,620	14,621	70,595	681,838

３　主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Google LLC	6,498,702	クリエイター&アスリート事業

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

１　製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２　地域ごとの情報

（１）売上高

（単位：千円）

日本	米国	アジアその他	合計
23,695,581	28,058,424	4,949,527	56,703,533

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（２）有形固定資産

（単位：千円）

日本	北米	アジア	合計
1,489,346	74,430	23,894	1,587,671

３　主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Google LLC	6,516,145	クリエイター&アスリート事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					全社・消去	合計
	プロダクト事業	投資事業	クリエイター＆アスリート事業	その他事業	計		
当期末残高	134,909	－	1,233,062	－	1,367,972	－	1,367,972

（注）のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					全社・消去	合計
	プロダクト事業	投資事業	クリエイター＆アスリート事業	その他事業	計		
当期末残高	530,070	－	2,253,200	－	2,783,270	－	2,783,270

（注）のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

なお、「クリエイター＆アスリート事業」セグメントにおいて、新たに株式を取得し連結子会社としたことに伴い、のれんが1,181,461千円増加しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（１株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	603.88円	682.96円
１株当たり当期純利益	15.85円	73.95円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	15.81円	73.86円

（注）１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	275,472	1,284,931
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	275,472	1,284,931
普通株式の期中平均株式数（株）	17,376,512	17,376,512
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	△824	△872
（うち持分法適用の関連会社の潜在株式による調整額（千円））	（△824）	（△872）
普通株式増加数（株）	－	9,076
（うち新株予約権（株））	（－）	（9,076）
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

（重要な後発事象の注記）
該当事項はありません